

岐阜大学地域協学センター

地×知の拠点創成「地域にとけこむ大学」



次世代地域リーダー育成プログラム

2020年度



「地域活性化の中核拠点」を目指して

岐阜大学地域協学センター長・教授

益川 浩一



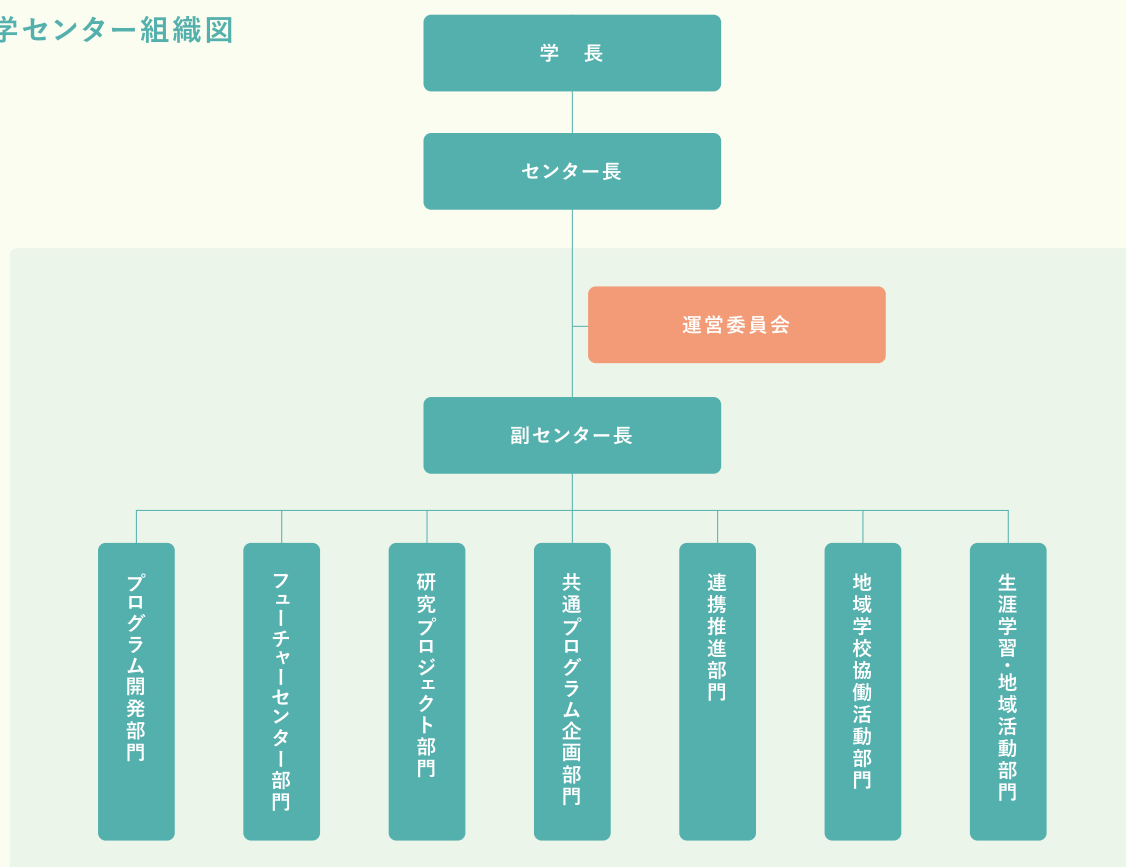
岐阜大学は「『学び、究め、貢献する』地域に根ざした国立大学」を理念として掲げ、地域の要請と期待に応えられるように努めています。その構想によって、平成25年度には文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」(大学COC(Center of Community)事業)、平成27年度には同「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」に採択されました。COC事業の採択に伴い、その事業実施機関として平成25年12月に設置されたのが地域協学センターです。

地域協学センターでは専任教員の他に、連携自治体である岐阜県・岐阜市・高山市・関市・中津川市・羽島市・美濃加茂市・郡上市・下呂市・岐南町・笠松町の自治体職員を地域コーディネーターとして、地域でNPO活動・ボランティア活動等で活躍している市民をアドバイザーとして配置しています。また、COC+事業の全体統括を担う統括事業推進コーディネーターと、事業推進コーディネーターとして事業協働機関である十六銀行・大垣共立銀行の職員も配置しています。これによって地域の様々な団体との連携を密にし、岐阜大学が地域の課題解決に資する多様な人材や情報・技術の集まる地域コミュニティの中核的存在としての「地(知)の拠点」となることを目指しています。

地域協学センターの活動は、「次世代地域リーダーの育成」(教育)・「地域志向学の推進」(研究)・「多様な人びとが集い議論する『場』」(ぎふフューチャーセンター)の形成(社会貢献)の3つを柱としています。中心となる教育プログラム「次世代地域リーダー育成プログラム」の修了生はこれまでに100人を越え、ぎふフューチャーセンターや地域志向学プロジェクトの取組みも学内外に浸透してきました。これらの取組みは文部科学省からも最高のS評価をいただき、全国的にも注目を集めています。

こうした取組みを一層推し進め、関係する地域や自治体、他大学、産業界との連携を深める中で、岐阜大学が「地域活性化の中核拠点」としての存在感を示せるよう努力を継続していきたいと考えています。

地域協学センター組織図



スタッフ

- 地域協学センター長、副センター長
- 専任教員、兼任教員
- アドバイザー (NPO関係者、自治体職員)
- 地域コーディネーター (自治体職員)
- 統括事業推進コーディネーター (自治体関係者)
- 事業推進コーディネーター (金融機関)
- 現地コーディネーター (NPO、地域活動団体等関係者)
- 地域づくりマスター (NPO、地域活動団体等関係者)

01 教育

全ての学生が受講できる地域志向教育のプログラムを展開し
「次世代地域リーダー」を育成します。

次世代地域リーダー

「地域(岐阜)を知り」「地域(岐阜)の課題を見つけ」「地域(岐阜)の課題解決に向けて行動する」能力、
すなわち「地域リテラシー」を備え、地域の中でリーダーシップを発揮できる人材、並びにリーダーを支援する人材を育成します。

02 研究

複雑・広範化した地域の課題に対し全学の連携を強化し、
複数の学問の「協働」による解決を図ります。

地域志向学

地域の課題解決に向けた実践的な方策を研究する新しい学問体系を「地域志向学」と捉えます。岐阜大学は様々な課題を掘り起こし、部局横断的な「協働」のもと、自治体・NPO団体・地域団体・民間事業者等との「協学」を進めながら、地域に貢献できる研究を推進します。

●地域志向学プロジェクト

地域志向学研究プロジェクト(フューチャーセンター型)

単独の研究(主体)だけでは解決が難しい課題について、多様な主体が集まって様々な観点から未来志向のアイデアを出し合う場である「フューチャーセンター」の活用によって地域の課題解決に向けて取り組みます。

令和元年度プロジェクト：
「薬用植物キョウの高機能化及び産地形成推進」、
「環境と調和した地域社会を目指して -市民と学び考える
地域環境保全-」、「岐阜大学『岐阜の自然アーカイブ』基盤
ネットワーク形成」、「岐阜県での家畜伝染病発生に関わる
岐阜大学の地域連携協力」、「過疎地域小規模校活性化に
向けた大学・学校連携教員研修プロジェクト」

地域志向教育プロジェクト

「次世代地域リーダー育成プログラム」の登録科目において
その内容を充実させる取組み、または未登録科目において
地域志向型の学習を導入・充実させ、「次世代地域リー
ダー育成プログラム」への科目登録を目指す取組みとして
実施します。

令和元年度プロジェクト：
「農林水産業と食文化」、「金属を使ったものづくり」

戦略的研究

地域の課題解決に向けて今後より一層の貢献が
期待できる取組みで、特に継続的な支援を
必要とする研究・教育活動を実施しました。

令和元年度プロジェクト：
「大学におけるSDGsの推進に関する調査研
究～大学内・大学間の学融合的研究ネットワ
ークの構築に向けて～」

03 社会貢献

多様な人々との交流を促進する空間を形成し、
対話を通じて地域の課題解決を目指します。

フューチャーセンター

職業や年齢などの枠にとらわれない多様な人々が、未来について語り合う対話の「場」であり未来の価値を創造する「場」。岐阜大学が主催する「ぎふフューチャーセンター」では、大学関係者や学生だけでなく様々なメンバーが集まり地域の未来に向けたアイデアや解決策を創出し、地域に貢献します。

●令和元年度ぎふフューチャーセンター開催実績(抜粋)

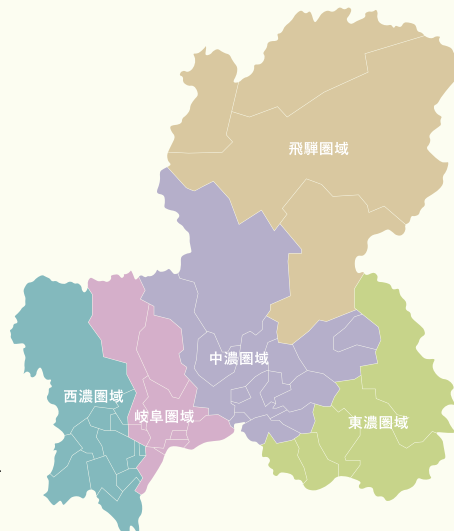
- 「大学生と高校生が地域の課題について考える」 (7/22大垣桜高校共催)
- 「岐阜大学フェア2019ぎふフューチャーセンター『岐阜大学の未来を皆でえがこう』」 (11/2)
- 「みんなでつくろう、これからの笠松町」 (1/18笠松町共催)

自治体との連携状況

岐阜県	
岐阜圏域	岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町、北方町
西濃圏域	大垣市、海津市、養老町、揖斐川町
中濃圏域	関市、美濃市、美濃加茂市、郡上市、八百津町、御嵩町
東濃圏域	多治見市、中津川市、瑞浪市、土岐市
飛騨圏域	高山市、飛騨市、下呂市、白川村

●自治体との連携協定とは

岐阜大学はこれまで県内28自治体と連携協定を締結しています。
連携協定とは、岐阜大学と県内自治体が、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的な連携を深めることにより、活力ある地域社会の形成・発展及び未来を担う人材育成に寄与することを目的として、締結しています。

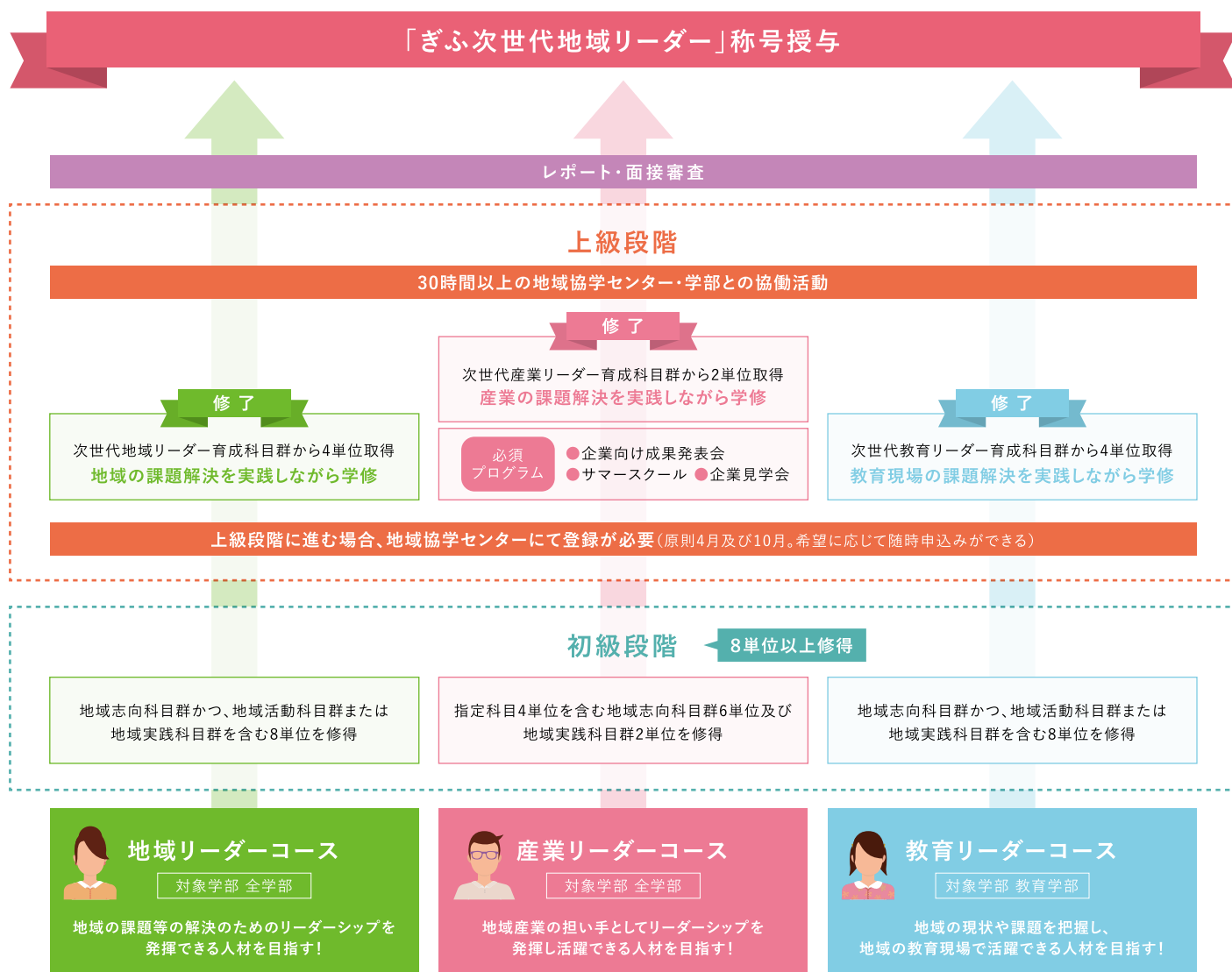


岐阜大学次世代地域リーダー育成プログラム

概要

- POINT 01** 「地域(岐阜)を知り」、「地域(岐阜)の課題を見つけ」、「地域(岐阜)の課題解決に向けて行動する」能力、すなわち、「地域リテラシー」を備え、地域で実践的に活躍し、地域の中でリーダーシップを発揮できる人材ならびにリーダーを支援する人材である「次世代地域リーダー」を育成・輩出することを目的・目標とするプログラムである。
- POINT 02** 「地域リーダーコース」では地域の課題等の解決のためリーダーシップを発揮し活躍できる人材を、「産業リーダーコース」では地域産業の担い手としてリーダーシップを発揮し活躍できる人材を、「教育リーダーコース」では、地域の現状や課題を把握し、地域の教育現場で活躍できる人材を、育成することを目指している。
- POINT 03** 学生は、地域について学び、地域との交流や地域産業における体験等を通じて、地域の現状把握や課題解決に貢献できる知識・理解・意欲・能力など、社会に出てから役立つ実践力を習得する。

次世代地域リーダー育成プログラムの履修プロセス



次世代地域リーダー育成プログラムで身につける3つの力

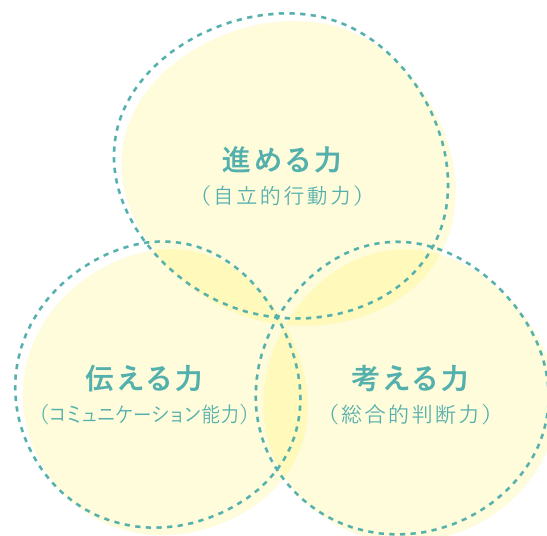
次世代地域リーダー育成プログラムは、初級段階と上級段階にわかれ、地域の現状の把握および地域の課題解決に貢献できる知識・理解・意欲・能力を修得することを目指す。

初級段階

地域で専門的能力を実践的に応用して活動するために、基盤的能力における「進める力」、「伝える力」、「考える力」の基礎的な素養や能力を身につけることを目指す。

上級段階

地域社会を活動の場とし、基盤的能力を活かして、より実践的に専門的能力を応用するための実行力を身につけることを目指す。



次世代地域リーダー育成プログラムで身につける能力

3つの力	9つの要素	初級段階 (地域志向科目群、地域活動科目群、地域実践科目群)	上級段階 (次世代地域リーダー育成科目群、次世代産業リーダー育成科目群、次世代教育リーダー育成科目群)
進める力 (自立的行動力)	計画力	地域の課題解決のプロセスを理解した上で、課題の解決に向けた計画が立案できる	地域の課題解決のプロセスを理解した上で、課題の解決に向けて立案した計画に基づいて行動できる
	実行力	地域の課題解決などの目的を設定し、他者と協働して実行することができる	地域の課題解決など設定した目的にむけて他者と協働して、一緒に達成にむけた行動を確実に実行することができる
	管理力	地域の課題解決などの目的に向かってチームの行動や活動をコントロールできる	目的に向かって自分自身やチーム両方の行動や活動をコントロールすることができる
伝える力 (コミュニケーション能力)	傾聴力	地域の意見を理解しながら聞くことができる	地域の意見を理解しながら丁寧に聞くことができる
	発信力	客観的なデータを用いて自分の意見をわかりやすく伝えることができる	自分の意見を、事例や客観的データ等を用いて地域の状況を理解しながらわかりやすく伝えることができる
	状況把握力	自分(大学)と周囲(地域)の関係を理解し、その場の状況を把握できる	自分(大学)と周囲(地域)の関係を理解し、集団や社会、会話等の場でつくられている文脈を把握し、その状況が説明できる
考える力 (総合的判断力)	課題発見力	自ら地域の現状を分析し、目的や課題を明らかにできる	地域の現状を分析する中で明らかになった目的や課題の解決に取り組む準備ができる
	創造的思考力	複数の考えを組み合わせることができ、地域の新しい発想を生み出すことができる	様々な分野に関して複数の考えを組み合わせ、地域の新しい発想や価値を創造することができる
	論理的思考力	地域の課題や物事について、論理立てて考えることができる	地域の課題や物事を分析、統合、比較し、相互に関連づけて、筋道を分かりやすく説明することができる

次世代地域リーダー育成プログラム初級段階科目(群)の趣旨・目的

地域志向科目群

全学共通教育および学部開講の地域志向科目群から構成される。「地域」(主に岐阜)の歴史・文化・自然・民族・産業・経済・福祉・教育等多面的「地域」を学修し、「地域を知り」、地域に関する関心や知識・理解・意欲を高めるとともに、「地域の課題」を認識する。

地域活動科目群

学外の様々なボランティア活動や地域活動に参加し、地域の人びととともに活動することを通して、実践的な生きた知識や技能を学ぶとともに、その過程において豊かな人間性や社会性を身につけ、「地域の課題を見つけ」、析出・明確化する力量および「地域の課題解決に向けて行動する」能力を習得する。

地域実践科目群

地域の企業・団体などで行うインターンシップ活動を単位認定する。地域活性化の活動や地場産業の活性化の現場で、活性化プロジェクトの企画・運営やマーケティングリサーチ、広報プロモーション等に携わり、「地域の課題を見つけ」、その解決に向けて学生自身がプロジェクトとして取り組むことを通して、「地域の課題解決に向けて行動する」能力を習得する。



地域リーダーコース

実際の地域の課題解決等に向けて実践することを通して、次世代地域リーダーに必要な素養や能力を養うとともに、将来においても、地域の課題解決等のための行動を実行できる人材を育成する。地域の中でリーダーシップを発揮できる人材、あるいはリーダーを支援する人材として必要な素養や能力を養うために、実際の地域の課題の解決等に取り組む。

「ぎふ次世代地域リーダー」称号授与

審査

レポート・面接

30時間以上の地域協学センターまたは学部との協働活動

上級段階

地域の課題解決を実践しながら学修し、4単位を修得

次世代地域リーダー育成科目群

全学共通

[前期] 地域リーダー実践(上級)Ⅰ
[後期] 地域リーダー実践(上級)Ⅱ

地域科学部

[前期] 地域学実習
[後期] 専門セミナー(3年次後学期)

初級段階

地域志向科目群かつ、地域活動科目群または、地域実践科目群から8単位以上を修得

地域志向科目群

全学共通

[前期] 岐阜県の方言、日本語、世界の言語／北欧のことばと地域の方言／現代社会論(少子高齢化社会)／(地理学-都市論) 岐阜の自然(地質・活断層と水環境)／岐阜の自然と都市、そこに生きる生き物と人／岐阜県誌:岐阜県の歴史・文化・自然 岐阜大学の教育研究と運営／まちづくりリーダー入門／自分らしいキャリア設計Ⅰ／教育論(現代社会問題と教育) 教育論(岐阜大学の歴史と高等教育論)／岐阜県の食構造／社会の多様な働き方／岐阜の産業-地域で活躍する企業と人 日本刀で学ぶ金属工学入門／フューチャーセンター入門／岐阜にまつわる東洋史 地域産業と企業戦略入門:岐阜の企業を知る／地域資源の活用と観光デザイン／地域防災リーダー基礎 自然科学実験講座(ご飯までのフィールド科学)／自然科学実験講座(家畜たちのフィールド科学) 自然科学実験講座(森と川のフィールド科学)
[後期] アイスランドのことばと文化／政治学入門(政治とは何か) 自分らしいキャリア設計Ⅱ／現代社会を支える企業／現代社会論(社会の基盤) 岐阜県の生物の分布と生態／岐阜県の農産物の生産・流通・消費／現代のまちづくりと住民 教育論-岐阜大学の歴史と高等教育論-／岐阜の伝統産業:陶磁器、刃物、石灰、紙、繊維／フューチャーセンター入門 自己省察と将来のキャリア設計／地域防災リーダー基礎／ヘルスプロモーションと地域保健／畜産・水産業の歴史と食文化

教育学部

[前期] 教職リサーチⅠ／教職リサーチⅡ／生涯学習概論Ⅱ／インターンシップ(就業体験)／学校と家庭・地域の連携 現代社会と学習・教育(生涯学習概論Ⅰ)／社会教育計画Ⅰ／教育社会システム論(教育社会学)
[後期] 地球科学野外実習／学習プログラム開発論(社会教育課題研究)／野外運動(キャンプ)／社会教育施設論／社会教育計画Ⅱ

地域科学部

[前期] 地域研究入門／地域産業論／行政法
[後期] 地域経済論／地域計画論／地域福祉論／環境法

医学部(医学科)

[後期] 地域体験実習／地域・産業保健

工学部

[前期] 土木史／都市地域計画論／防災デザイン／環境デザイン／技術表現法

応用生物科学部

[前期] 応用生命科学概論
[後期] 生物環境科学概論／野生動物医学／地域ブランドと地域振興Ⅰ／風土保全教育プログラムⅠ

地域活動科目群

全学共通

[前期] 現代社会とボランティア・地域活動／人と自然との関わりから見た岐阜／地域防災リーダー実践Ⅰ／地域防災リーダー実践Ⅱ 教養の宇宙地球科学(ESD入門)
[後期] 現代社会とボランティア・地域活動／まちづくりリーダー実践／地域防災リーダー実践Ⅰ／地域防災リーダー実践Ⅱ 人と自然の関わりから見た岐阜(実践)／現代環境学(ESD実践研究)

教育学部

[前期] 国語学各論Ⅳ
[後期] 社会教育実習／野外活動実習／生涯学習成果の還元とボランティア活動

地域科学部

[前期] 社会活動演習／地域振興論

応用生物科学部

[後期] 風土保全教育プログラムⅡ

地域実践科目群

全学共通

[前期] 地域系インターンシップⅠ／産業系インターンシップⅠ
[後期] プロジェクト型インターンシップ／地域系インターンシップⅡ／産業系インターンシップⅡ

教育学部

[前期] 教育論(教職トライアル)／教職インターン
[後期] 教職インターン

応用生物科学部

[後期] 地域ブランドと地域振興Ⅱ

〈地域リーダーコース履修例〉

初級段階

1年生

【前期】北欧のことばと地域の方言(月曜1限・地域志向科目群)／現代社会とボランティア・地域活動(水曜3限・地域活動科目)
【後期】自分らしいキャリア設計Ⅰ(水曜2限・地域志向科目群)／人と自然との関わりから見た岐阜(実践)(月曜2限・地域活動科目)

上級段階

2年生

【前期】地域リーダー実践(上級)Ⅰ(集中講義:次世代地域リーダー育成科目群)
【後期】地域リーダー実践(上級)Ⅱ(集中講義:次世代地域リーダー育成科目群)

修了後

3年生

SA(チューデント・アシスタント)等として地域協学センター等と協働活動

審査

レポート・面接

「ぎふ次世代地域リーダー」称号授与



産業リーダーコース

実際の地域産業の課題解決等に向けて実践することを通して、次世代地域リーダーに必要な素養や能力を養うとともに、将来においても、地域産業の担い手として課題解決等のための行動を実行できる人材を育成する。地域産業の中でリーダーシップを発揮できる人材、あるいはリーダーを支援する人材として必要な素養や能力を養うために、実際の地域産業の課題に対して、企業の方とも関わりながら取り組む。

「ぎふ次世代地域リーダー」称号授与

審査

レポート・面接

30時間以上の地域協学センターまたは学部との協働活動

地域産業の課題解決を実践しながら学修し、2単位を修得

上級段階

次世代産業リーダー育成科目群

- 全学共通** [前期] ◎産業リーダー実践
[後期] ◎産業リーダー実践
- 工学部** [前期] ◎機械工学応用演習／◎知能機械工学演習
[後期] ◎機械工学創造演習

必須プログラム

企業向け成果発表会

学生が自らの学習成果を企業に向けて発表することで、学生と企業の相互理解を深める。

サマースクール

大学・学年を越えて交流を深め、企業などへの取材活動やプレゼンテーションを行う。

企業見学会

企業の現場を見学し、そこで働く人と交流することで大学の学びと社会とのつながりを知る。

初級段階

指定科目4単位を含む地域志向科目群6単位以上と、地域実践科目群2単位以上を修得

地域志向科目群のうち コース指定科目

コース指定経営系科目(2単位以上)

- 全学共通** [前期] ◎岐阜の産業－地域で活躍する企業と人／◎地域産業と企業戦略入門：岐阜の企業を知る

コース指定キャリア系科目(2単位以上)

- 全学共通** [前期] ◎自分らしいキャリア設計I
[後期] ◎自分らしいキャリア設計I／◎自己省察と将来のキャリア設計

- 工学部** [前期] ◎技術表現法

地域志向科目群

- 全学共通** [前期] 岐阜県の方言、日本語、世界の言語／北欧のことばと地域の方言／現代社会論(少子高齢化社会)／地理学(都市論)
岐阜の自然(地質・活断層と水環境)／岐阜の自然と都市、そこに生きる生き物と人／岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然
岐阜大学の教育研究と運営／まちづくりリーダー入門／教育論(現代社会問題と教育)／教育論(岐阜大学の歴史と高等教育論)
岐阜県の食構造／社会の多様な働き方／日本刀で学ぶ金属工学入門／フューチャーセンター入門／岐阜にまつわる東洋史
地域防災リーダー基礎／自然科学実験講座(ご飯までのフィールド科学)／自然科学実験講座(家畜たちのフィールド科学)
自然科学実験講座(森と川のフィールド科学)
- [後期] アイスランドのことばと文化／政治学入門(政治とは何か)／現代社会を支える企業／現代社会論(社会の基盤)
岐阜県の生物の分布と生態／岐阜県の農産物の生産・流通・消費／現代のまちづくりと住民
教育論－岐阜大学の歴史と高等教育論－／岐阜の伝統産業：陶磁器、刃物、石灰、紙、繊維／フューチャーセンター入門
地域防災リーダー基礎／ヘルスプロモーションと地域保健／畜産・水産業の歴史と食文化

- 教育学部** [前期] 教職リサーチI／教職リサーチII／生涯学習概論II／インターンシップ(就業体験)／学校と家庭・地域の連携
現代社会と学習・教育(生涯学習概論I)／社会教育計画I／教育社会システム論(教育社会学)

- [後期] 地球科学野外実習／学習プログラム開発論(社会教育課題研究)／野外運動(キャンプ)／社会教育施設論／社会教育計画II

- 地域科学部** [前期] 地域研究入門／地域産業論／行政法
[後期] 地域経済論／地域計画論／地域福祉論／環境法

- 医学部(医学科)** [後期] 地域体験実習／地域・産業保健

- 工学部** [前期] 土木史／都市地域計画論／防災デザイン／環境デザイン

- 応用生物科学部** [前期] 応用生命科学概論
[後期] 生物環境科学概論／野生動物医学／地域ブランドと地域振興I／風土保全教育プログラムI

地域実践科目群

- 全学共通** [前期] ◎地域系インターンシップI／◎産業系インターンシップI
[後期] ◎プロジェクト型インターンシップ／◎地域系インターンシップII／◎産業系インターンシップII

- 教育学部** [前期] 教育論(教職トライアル)／教職インターン
[後期] 教職インターン

- 応用生物科学部** [後期] ◎地域ブランドと地域振興II

◎地域協学センター長が指定する科目

〈産業リーダーコース履修例〉

初級段階

1年生

[前期] 地域産業と企業戦略入門-岐阜の企業を知る(月曜2限：地域志向科目群◎コース必修科目)／産業系インターンシップI(集中講義：地域実践科目群◎コース必修科目)／フューチャーセンター入門(月曜5限：地域志向科目群)

[後期] 自己省察と将来のキャリア設計(月曜4限：地域志向科目群◎コース必修科目)／産業系インターンシップII(集中講義：地域実践科目群◎コース必修科目)

企業見学会 ※コース必修プログラム

上級段階

2年生前期または後期

産業リーダー実践(水曜5限：次世代産業リーダー育成科目群)

企業向け成果発表会 ※コース必修プログラム

サマースクール ※コース必修プログラム

修了後

3年生

SA(スチューデント・アシスタント)等として地域協学センター等と協働活動

審査

レポート・面接

「ぎふ次世代地域リーダー」称号授与



教育リーダーコース

(教育学部のみ対象)

実際の教育現場の課題解決等に向けて実践することを通して、次世代地域リーダーに必要な素養や能力を養うとともに、将来においても、教育現場の課題解決等のための行動を実行できる人材を育成する。地域の教育現場の中でリーダーシップを発揮できる人材、あるいはリーダーを支援する人材として必要な素養や能力を養うために、実際の教育現場の課題の解決等に取り組む。

「ぎふ次世代地域リーダー」称号授与

審査

レポート・面接

30時間以上の地域協学センターまたは学部との協働活動

上級段階

地域の課題解決を実践しながら学修し、4単位を修得

次世代教育リーダー育成科目群

教育学部

[前期] 教育リーダー実践Ⅰ
[後期] 教育リーダー実践Ⅱ

初級段階

地域志向科目群かつ、地域活動科目群または、地域実践科目群から8単位以上を修得

地域志向科目群

全学共通

[前期] 岐阜県の方言、日本語、世界の言語／北欧のことばと地域の方言／現代社会論(少子高齢化社会)／地理学(都市論) 岐阜の自然(地質・活断層と水環境)／岐阜の自然と都市、そこに生きる生き物と人／岐阜県誌:岐阜県の歴史・文化・自然 岐阜大学の教育研究と運営／まちづくりリーダー入門／自分らしいキャリア設計Ⅰ／教育論(現代社会問題と教育) 教育論(岐阜大学の歴史と高等教育論)／岐阜県の食構造／社会の多様な働き方／岐阜の産業-地域で活躍する企業と人 日本刀で学ぶ金属工学入門／フューチャーセンター入門／岐阜にまつわる東洋史 地域産業と企業戦略入門:岐阜の企業を知る／地域防災リーダー基礎／自然科学実験講座(ご飯までのフィールド科学) 自然科学実験講座(家畜たちのフィールド科学)／自然科学実験講座(森と川のフィールド科学)

[後期] アイスランドのことばと文化／政治学入門(政治とは何か) 自分らしいキャリア設計Ⅱ／現代社会を支える企業／現代社会論(社会の基盤) 岐阜県の生物の分布と生態／岐阜県の農産物の生産・流通・消費／現代のまちづくりと住民 教育論-岐阜大学の歴史と高等教育論-／岐阜の伝統産業:陶磁器、刃物、石灰、紙、繊維／フューチャーセンター入門 自己省察と将来のキャリア設計／地域防災リーダー基礎／ヘルスプロモーションと地域保健／畜産・水産業の歴史と食文化

教育学部

[前期] 教職リサーチⅠ／教職リサーチⅡ／生涯学習概論Ⅱ／インターンシップ(就業体験)／学校と家庭・地域の連携 現代社会と学習・教育(生涯学習概論Ⅰ)／社会教育計画Ⅰ／教育社会システム論(教育社会学)

[後期] 地球科学野外実習／学習プログラム開発論(社会教育課題研究)／野外運動(キャンプ)／社会教育施設論／社会教育計画Ⅱ

地域科学部

[前期] 地域研究入門／地域産業論／行政法 [後期] 地域経済論／地域計画論／地域福祉論／環境法

医学部(医学科)

[後期] 地域体験実習／地域・産業保健

工学部

[前期] 土木史／都市地域計画論／防災デザイン／環境デザイン／技術表現法

応用生物科学部

[前期] 応用生命科学概論 [後期] 生物環境科学概論／野生動物医学／地域ブランドと地域振興Ⅰ／風土保全教育プログラムⅠ

地域活動科目群

全学共通

[前期] 現代社会とボランティア・地域活動／人と自然との関わりから見た岐阜 地域防災リーダー実践Ⅰ／地域防災リーダー実践Ⅱ／教養の宇宙地球科学(ESD入門) [後期] 現代社会とボランティア・地域活動／まちづくりリーダー実践Ⅰ／地域防災リーダー実践Ⅱ 人と自然の関わりから見た岐阜(実践)／現代環境学(ESD実践研究)

教育学部

[前期] 国語学各論Ⅳ [後期] 社会教育実習／野外活動実習／生涯学習成果の還元とボランティア活動

地域科学部

[前期] 社会活動演習／地域振興論

応用生物科学部

[後期] 風土保全教育プログラムⅡ

地域実践科目群

全学共通

[前期] 地域系インターンシップⅠ／産業系インターンシップⅠ [後期] プロジェクト型インターンシップ／地域系インターンシップⅡ／産業系インターンシップⅡ

教育学部

[前期] 教育論(教職トライアル)／教職インターン [後期] 教職インターン

＜教育リーダーコース履修例＞

初級段階

1年生

【前期】フューチャーセンター入門(月曜5限:地域志向科目群)／自分らしいキャリア設計Ⅰ(水曜2限:地域志向科目群)
【後期】野外活動実習(集中講義:地域活動科目群※1単位)

初級段階

2年生

【前期】生涯学習概論Ⅱ(水曜1限:地域志向科目群)／教職リサーチⅠ(集中講義:地域志向科目群)

上級段階

3年生

【前期】教育リーダー実践Ⅰ(集中講義:次世代教育リーダー育成科目群)
【後期】教育リーダー実践Ⅱ(集中講義:次世代教育リーダー育成科目群)

修了後

4年生

SA(スチューデント・アシスタント)等として学部等と協働活動

審査

レポート・面接

「ぎふ次世代地域リーダー」称号授与

「次世代地域リーダー育成プログラム」の修了証書交付

上級段階の「次世代地域リーダー育成科目群」(4単位)、「次世代教育リーダー科目群」(4単位)または「次世代産業リーダー育成科目群」(2単位)と所定のプログラムを受講し、所定の単位(地域リーダーコース:計12単位、教育リーダーコース:計12単位、産業リーダーコース:計10単位)を修得した学生は、プログラム修了者と認定され、あわせて修了証書が交付される。

「ぎふ次世代地域リーダー」の称号授与

対象者

地域リーダーコース、産業リーダーコースまたは教育リーダーコースのいずれかを修了(上級段階科目単位修得)、岐阜大学・地域協学センターまたは学部との協働活動等を30時間以上行い、かつレポート・面接審査を経て、一定の実績を上げた者に「ぎふ次世代地域リーダー」の称号が授与される。

協働活動の内容

協働活動は、地域協学センター・学部が実施している活動や次世代地域リーダー育成プログラム関連科目(上級段階科目等)における活動や取組みへの参加、または地域協学センターや学部が地域・企業等と連携して実施するプロジェクト(課題解決型等)への参画である。あるいは、卒業後(または大学院修了後)、現地コーディネーターとして、地域協学センターや学部と協働し行う活動も含む。

現地コーディネーターとしての取組み

現地コーディネーターは、地域協学センターから委嘱される身分であり、特定の地域において大学と地域の橋渡しとして連携活動を推進し、地域の課題解決などに貢献することが期待される。

現地コーディネーターは、以下のいずれかの活動に携わることとする。

1. 自治体や関連団体等と連携した地域の課題解決活動、地域協学センターと連携したフューチャーセンターの開催、岐阜大学教職員と連携した地域の課題解決等に関するプロジェクトの実施。
2. 次世代地域リーダー育成プログラム上級段階科目で実施する地域や企業の課題解決等に関するプロジェクト。
3. 次世代地域リーダー育成プログラム関連科目(地域志向科目群、地域活動科目群、地域実践科目群)における情報提供や地域での学生受入れ及び指導。
4. 1～3に相当する地域の課題解決等に関する活動。



※イメージ



学生コーディネーターの称号授与

「地域活動科目群」または「地域実践科目群」の単位を修得し、地域活動をコーディネートするための基本的な知識と技能を有すると認められた者に対し、地域協学センター運営委員会の審査を経て、「学生コーディネーター」の称号が授与される。

「地域リーダー実践(上級)」・「産業リーダー実践」の取組み紹介

地域リーダー実践(上級)

産業リーダー実践



八百津チーム

八百津町の山村活性化プロジェクトに参加し、学生自身が八百津町の新しい特産品の開発に取り組んだ。現地調査、地域住民との交流、合宿をとおして、これまでの特産品に関する課題を見つけ、地域の栗、おから、八百津せんべいなどを活かして、若者向けの「八百津カフェ」を考案し、八百津町で試食会を行い提案した。



母袋チーム

郡上市大和町の母袋地区で、現地調査や地域住民との交流を通して、学生自らが地域の課題を見つけ、地域での仕事をテーマに取り組んだ。地域住民の多くが藁から縄をなう技術を持っていることに着目し、しめ縄を作りインターネット販売による副業を提案、実践した。実際に、地域の方々と作成したしめ縄を販売することができた。



前期

土岐市高山地区が挑戦しているブラックベリーによる地域づくりに関わり、ブラックベリーの地域定着を目指して活用方法の考案に取り組んだ。1つは、ブラックベリーを使ったフルーツグラタンやプリンを考案し地元のカフェのメニューに活かせるよう提案した。もう1つは、ブラックベリーの収穫体験から、収穫したブラックベリーでの染め物体験プログラムを提案、実践した。

後期

NEXCO中日本と十六銀行との連携で、中部国際空港からレンタカーを利用する外国人旅行者をターゲットとして、美濃市・美濃加茂市周辺にある高速道路のサービスエリアに呼び込むための新たな商品開発に取り組んだ。学生らは、岐阜県の特産品を活かしたこれまでにない「天ぶら」や、地元の果物を活かしたフルーツアイスとフルーツティーを考案した。

地域との関わりの大切さを忘れずに子どもたちと向き合っていきたい。

次世代地域リーダー育成プログラムの上級段階科目「地域リーダー実践(上級)I、II」では、学部や学年が異なる学生6人がグループになり、羽島市足近町をフィールドに地域の課題解決への貢献を目指して活動しました。地域の方々と交流や現地でのフィールドワークを通じて、地元の小学生が地域の魅力を発見し地域への愛着を育むことを目指したかるた作り(「アジカルタ」作り)とかるた大会を実践しました。この教育プログラムを通じて、地域の方々と直接お話を聞くことの大切さや、自分たちの取組を地域の方々に説明し理解していただくことの難しさを学ぶことができました。卒業後は学校の教員になりますが、次世代地域リーダー育成プログラムで経験した地域との関わりの大切さを心に留めながら子どもたちと向き合っていきたいと思っています。

地域リーダー
コース修了生

教育学部(令和元年度卒業)
今泉 雄大さん



グループでやり遂げる協調性や計画性を活かしたいです。

私は産業リーダーコースのプログラムを受講し、岐阜県の様々な分野の企業のインターンシップや課題解決に取り組みました。学年、学部・学科が異なるメンバーでグループを組むため、自分の思いっかないような切り口での意見が聞け、考え方が広がります。また、グループで1つのものをつくりあげる難しさや面白さを学びました。この経験を通して学んだ周囲を巻き込みながらグループでやり遂げる協調性や計画性を今後の社会で活かしていきたいです。3年生になる前に社会人と関わることで、会社の雰囲気や社員さんの声を聞け、将来の自分をイメージしやすくなります。この機会を活かして、自分が将来どんな仕事がしたいかを見つけるきっかけをつくりましょう。

産業リーダー
コース修了生

工学部(4年)
今野 絢萌さん



様々な立場から考えることの大切さを学びました。

平成29年度に「地域リーダー実践(上級)」を受講し、中津川市阿木地区で活動しました。阿木では高齢化が進み、子どもが少なく、若者や子育て世代に移住してほしいという課題があり、若者に移住してもらうための取り組みの企画・実施を検討しました。地域住民や移住者(移住希望者)といった様々な立場の人たちの間には、移住に対する考え方のズレがあることを認識してもらうことが重要であると考え、移住促進パンフレットを制作しました。グループで課題解決に取り組んでいく中で、報告連絡相談の重要性や意見のまとめ方、実際にまちの中に入って住民の生の意見を聞くことが出来たこと、まちの活性化を考えている人々と多く関わることが出来たことは、今後仕事で都市計画などに関わる身としてはとても有意義であったと思います。ただ与えられた課題に対し求められた技術で答えるだけでなく、使う人・作る人・管理する人など、様々な立場のことを考慮したうえで、「本当のニーズ」を見つけることが重要であると学びました。

地域リーダー
コース修了生

工学部(平成30年度卒業)
加藤 大暉さん



自分が住む岐阜にはたくさんの魅力があることを知りました。

私は、産業リーダーコースを受講して、企業見学会では郡上市を訪れ、サマースクールでは高山市の観光をテーマに取り組み、上級段階科目の産業リーダー実践では外国人観光客を高速道路のSAに呼び込む商品開発に取り組みました。これらの活動を通して、岐阜県内の企業や地域についてたくさん学ぶことができました。地域を実際に目で見て、その魅力を発見したからこそ、地域と人を繋げられるよう商品や課題解決案を考えることができました。また、自分が住む岐阜には多くの魅力があることを感じた一方で、魅力が埋もれてしまっていることが現状であることも知りました。地域の魅力を発信し人に知ってもらうための企画力や調整力の大切さを学ぶことができました。今後の自分の課題は、自分の意見に説得力を持たせるためにも、実際のデータにもとづいて、物事を多面的にとらえて説明できる力をつけることを心がけたいと思います。

産業リーダー
コース修了生

工学部(4年)
後藤 紗帆さん



単位互換

ぎふCOC+事業推進コンソーシアムに参加する大学(岐阜大学・中部学院大学・中部大学・日本福祉大学・名古屋学院大学)は、大学間の相互の協力・交流・連携並びに各大学の特色ある授業科目の開放によって、教育課程の充実、学生の幅広い視野の育成と学習意欲の向上を図ることを目的として、平成30年2月1日に単位互換に関する協定書を締結しました。

この単位互換制度は、ぎふCOC+事業推進コンソーシアムに参加する大学の学部学生のみなさんが、他大学の授業を履修することができる制度です。取得した単位は、岐阜大学の教養科目(全学共通教育複合領域科目(地域志向科目群))として認定され、卒業要件単位として活用することができます。所属学部または全学共通教育事務局でご確認下さい。

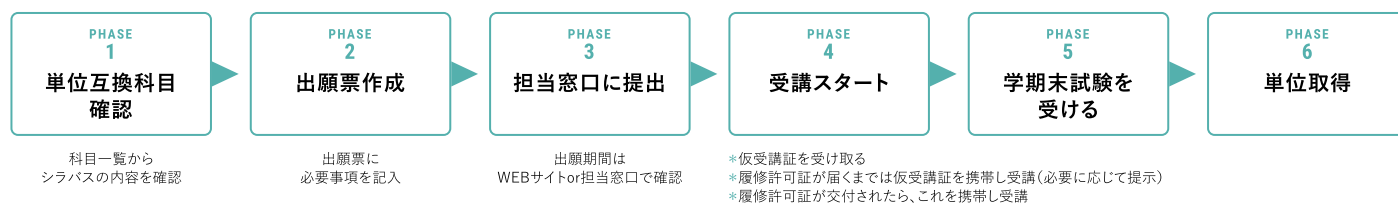


出願要項

受講資格 ぎふCOC+事業推進コンソーシアムに参加する大学の学部学生(岐阜大学・中部学院大学・中部大学・日本福祉大学・名古屋学院大学)

受講料 無料

出願方法 出願票をWEBサイトよりダウンロードの上、担当窓口(全学共通教育事務局)に提出



単位互換科目一覧

※他大学の授業で取得した単位は、全学共通教育科目複合領域(地域志向科目群)の単位として認められます。

中部学院大学

授業科目名	科目区分	単位数	学期	曜日	時限
美濃と飛騨のふくし	全学共通教育	2	前期	月	4
美濃と飛騨のふくし	全学共通教育	2	後期	月	4

日本福祉大学

授業科目名	科目区分	単位数	学期	曜日	時限
ふくしとフィールドワーク	講義科目(オンデマンド)	2	前期	—	—

※e-learning科目

中部大学

授業科目名	科目区分	単位数	学期	曜日	時限
地域共生実践	全学共通教育科目	2	春	火	1.2
地域共生実践	全学共通教育科目	2	春	木	1.2
地域共生実践	全学共通教育科目	2	春	金	1.2
地域共生実践	全学共通教育科目	2	秋	火	1.2
地域共生実践	全学共通教育科目	2	秋	水	3.4
地域共生実践	全学共通教育科目	2	秋	木	1.2
地域共生実践	全学共通教育科目	2	秋	金	1.2
地域共生実践	全学共通教育科目	2	秋	金	3.4

名古屋学院大学

授業科目名	科目区分	単位数	学期	曜日	時限
まちづくり学	NGU教養スタンダード科目	2	春	月	2
まちづくり学	NGU教養スタンダード科目	2	春	金	4
まちづくり学	NGU教養スタンダード科目	2	春	金	5
まちづくり学	NGU教養スタンダード科目	2	秋	金	4
まちづくり学	NGU教養スタンダード科目	2	秋	金	5
まちづくり学	NGU教養スタンダード科目	2	春	木	4
まちづくり演習	NGU教養スタンダード科目	2	秋	月	2
まちづくり演習	NGU教養スタンダード科目	2	秋	木	4

地域にとけこむ大学を目指して

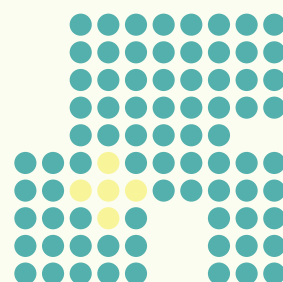


岐阜大学は「学び、究め、貢献する」を理念とし
地域にとけこむ大学を目指しています

平成27年度より展開している「次世代地域リーダー育成プログラム」は、
岐阜大学生が岐阜という地域を知り、地域の課題を見つけ、地域の課題
解決に向けて行動できる人材となるための教育プログラムです。

新入生全員が地域をよく知るための科目である地域志向科目から
2単位を必修とするなど、地域を志向し地域を理解するための環境が
岐阜大学には整っています。皆さんが地域を常に意識し、各学部での
専門性を生かしながら、生活の場となる地域と関わり、貢献できる人材に
なることを心より願っております。

岐阜大学長 森脇 久隆



国立大学法人

岐阜大学

バスでのアクセス
岐阜大学・病院線(バス系統C70)
所要時間約30分 330円
JR岐阜駅前～名鉄岐阜駅前～(忠節橋経由)
～岐阜大学～岐阜大学病院
乗車バス停名:JR岐阜駅北口バスロータリー9番のりば
名鉄岐阜駅5番のりば

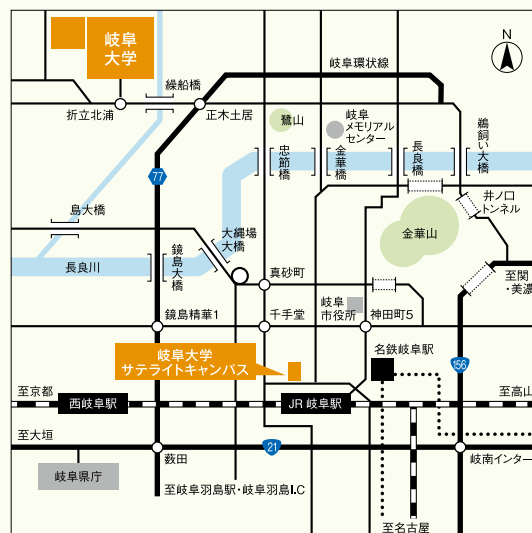
タクシーでのアクセス
所要時間:JR岐阜駅より約20分

国立大学法人 岐阜大学

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL.058-230-1111(代表)

岐阜大学 サテライトキャンパス

〒500-8844 岐阜市吉野町6-31 岐阜スカイウイング37 東棟4F TEL.058-212-0390(代表)



CCSC 地域協学センター
Center for Collaborative Study with Community

[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp [URL] <http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp>

TEL.058-293-3880 FAX.058-293-3881